

(別紙)

平成 19 年 8 月 7 日
内閣府食品安全委員会事務局

「食品に関するリスクコミュニケーションー放射線照射食品をめぐる国際的な状況ー」の開催と参加者の募集について（お知らせ）

食品安全委員会では、平成 15 年 7 月の発足以来、リスク分析の考え方に基づき、食品健康影響評価（リスク評価）を行ってまいりました。また、評価結果等についてリスクコミュニケーションを行い、皆様に情報提供を行うとともに皆様から御意見を頂いてきたところです。

食品への放射線照射は、多くの国で、殺菌、殺虫、発芽抑制等の手段として活用されています。日本では、ばれいしょの発芽防止のための照射が許可されているところです。

昨年 10 月、原子力委員会は「食品への放射線照射について」の報告書を取りまとめ、現在、厚生労働省では今後の対応を検討しています。食品安全委員会でも、企画専門調査会等で議論を重ね、引き続き情報収集に努めていくこととしています。

今回、食品安全委員会では、WHO から、ジェラルド ジョージ・モイ博士を招聘し、放射線照射食品を巡る WHO の見解や最新の情勢をお聞きすることにいたしましたので、お知らせいたします。

モイ博士は、WHO の食品安全プログラムの研究員として、放射線照射食品を始め、食品添加物、残留農薬・動物用医薬品及び化学物質等の暴露評価やリスク特定など、多くのプログラムの責任者として御活躍されています。

モイ博士の御講演後は、会場の皆様との意見交換を行います。

1. 開催日時：平成 19 年 9 月 3 日（月）14 時 00 分～16 時 30 分

2. 会 場：東京ウィメンズプラザ （別紙地図参照）
東京都渋谷区神宮前 5-53-67

3. 主 催：食品安全委員会

4. 参 加 者：約 200 名

5. テ ー マ：放射線照射食品をめぐる国際的な状況

6. プログラム（予定）[日英同時通訳有]

○ 講演「放射線照射食品に関する WHO の考え方（仮題）」

ジェラルド ジョージ・モイ博士（WHO 人畜共通感染症・食中毒局）

○ 会場との意見交換

7. 参加者の募集

参加を御希望の方は、**別添**のとおり、①氏名（フリガナ）、②参加証送付先住所・郵便番号、③電話番号、④FAX 番号、⑤勤務先、⑥開催日と開催場所（「9/3 東京」と記載してください）を御記入の上、FAX、ハガキ、インターネットで下記にお申し込みください。希望者が多い場合は、先着 200 名で締め切らせていただく場合がありますので御

了承ください（参加費無料）。

また、参加の可否については、参加証の郵送又はFAXにより御連絡いたします。参加証の郵送が間に合わない場合、FAXでのお知らせとなりますのでFAX番号は必ず御記入願います。

参加証又はFAXのお知らせを受け取られた方は、意見交換会当日、会場受付で、当該参加証又はFAXのお知らせ、及び身分を証明するもの（運転免許証・健康保険証・社員証など）を御提示ください。

なお、氏名・住所等は、当方から必要に応じて御連絡させていただく場合や会場での参加確認のため、また、どのような立場の方々が御参加されているのかを把握するためにお尋ねしております。

（申込先について）

申込先：「食品に関するリスクコミュニケーション（9/3東京）」事務局

・FAXでの御応募：03-5294-2470

・ハガキでの御応募：

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-1-2

・インターネットでの御応募：食品安全委員会ホームページ(<http://www.fsc.go.jp>)
で8月7日（火）17:00から受付開始

（応募フォーム：<http://www.itinfo.jp/risk/06/>）

問い合わせ先：「食品に関するリスクコミュニケーション（9/3東京）」事務局

TEL 03-5294-2700

（受付時間 9：30～17：00 土日・祝日を除く）

業務管理委託先：株式会社日経スタッフ 責任者：門馬

食品安全委員会では、事務効率改善の観点から、一般競争入札制度のシステムにより決定された民間企業に、会場の確保、参加者受付などの一部業務について、その業務の管理を委託して実施しております。

なお、食品安全委員会から意見交換会の実施事務に関して業務委託を受ける民間企業に対し、今後とも食品安全委員会として適切な指導・監督を行い、個人情報の管理に努めてまいります。

【報道関係者の皆様へ】

・意見交換会は公開といたします（カメラ撮り可）。

・参加を希望される報道関係者につきましては、会場設営の都合上、申込期限（平成19年8月27日（月）正午までに、「食品に関するリスクコミュニケーション（9/3東京）参加希望」と明記し、①会社名、②氏名、③TVカメラの有無、④電話番号、⑤FAX番号、⑥住所、⑦参加人数を記入（様式自由）の上、上記申込先まで御連絡ください。

(別添)

食品に関するリスクコミュニケーション
－放射線照射食品をめぐる国際的な状況－

参加申込書

フリガナ ① 氏 名	② 住所（都道府県から）	③TEL番号(市外番号から) ④FAX番号	フリガナ ⑤勤務先 所属団体等
	☐ 勤務先 ☐ 自宅 〒 _____ ー _____	TEL FAX	
	☐ 勤務先 ☐ 自宅 〒 _____ ー _____	TEL FAX	
	☐ 勤務先 ☐ 自宅 〒 _____ ー _____	TEL FAX	
	☐ 勤務先 ☐ 自宅 〒 _____ ー _____	TEL FAX	

※ ハガキでのお知らせに間に合わない場合、FAXでのお知らせとなりますので
FAX番号は必ず御記入願います。

・該当する番号にひとつだけ○を付けてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1) 消費者団体（生活協同組合関係者など） | 2) 無職、主婦、学生 |
| 3) 生産者（農林水産業など） | 4) 食品関連事業者・団体（加工、流通、販売など） |
| 5) マスコミ関係者 | 6) 行政（自治体職員、独立行政法人等職員など） |
| 7) 食品関連研究・教育機関（教員、研究職員など） | |
| 8) その他(具体的に御記入ください： |) |

FAX送信先：

03-5294-2470「食品に関するリスクコミュニケーション（9/3東京）」事務局
（問い合わせTEL 03-5294-2700）

(別紙地図)



<東京ウィメンズプラザ>

東京都渋谷区神宮前5-53-67

* 表参道駅より

東京メトロ銀座線、半蔵門線、千代田線の表参道駅下車、B2出口を出てそのまま真っ直ぐ歩き、右側のオーバルビルと国連大学の間の道に入り、右のビル。徒歩約7分。

* 渋谷駅より

山の手線、東横線、井の頭線の渋谷駅下車、東口を出て左方向にあるりそな銀行とキムラヤの間の通りの左側を歩いて行くと、こどもの城の前に岡本太郎作の彫像があり、その向こう隣が国連大学、そしてその向こう側の通りを左に入って右のビル。徒歩約10分。

* 渋谷駅よりバス

渋谷駅東口にある都バスの茶81系統・渋88系統に乗り、「青山学院前」バス停下車。徒歩約2分。

《講演者プロフィール》

○ ジェラルド ジョージ・モイ 博士 (Dr. Gerald George Moy)

WHO食品安全プログラム研究員。

WHOにおける食品添加物、残留農薬・動物用医薬品、環境汚染物質及び自然毒を含む食品中の化学物質の暴露評価及びリスクの特定など食品衛生に関する幅広い分野の責任者として活躍している。食品汚染に関するグローバルデータベースおよび食品中の化学物質、特に残留農薬に関する暴露評価手法の開発と応用を行うGEMS／食品汚染監視計画部長でもある。

学術論文等著作多数。最近では、2冊の本の中で、マイコトキシンや残留農薬に関するコーデックス基準等についての章を担当している。また、“Journal of Food Control”に“健康的な市場：食品安全と環境衛生の確立手法”を寄稿している。

WHO (世界保健機関, World Health Organization) とは？

国連の専門機関として、1948年4月7日に設立。

「すべての人民が可能な最高の健康水準に到達すること」（世界保健憲章第1条）を目的とし、保健衛生の分野における問題に対し、広範な政策的支援や、技術協力の実施、必要な援助等を行っている。また、伝染病や風土病の撲滅、国際保健に関する条約、協定、規則の提案、勧告、研究促進等も行っており、ほかに食品、生物製剤、医薬品等に関する国際基準も策定している。

加盟国数は192ヶ国（2005年1月時点）、本部はジュネーブ（スイス）。

WHOホームページ <http://www.who.int/>